

西浦通信

2023/04/07 発行

第3号

龍谷大学 政策学部
西浦まちづくり研究会
執筆者：中岡 (H)、松田 (H)、藪田 (H)、山崎 (K)、塚本 (K)、谷川 (K)、竺原 (K)、小山 (K)
編集者：吉田瑞希 (H)、編集責任者：服部圭郎 (龍谷大学教授)

データで西浦を読む

西浦の人口（学生編）

今回のデータで西浦を読むでは学生に着目してデータを読み解いていこうと思います。

それではさっそく見ていきましょう。令和2年時点での国勢調査によると西浦町住民全体のうち15.3%が学生だそうです。そのうちの67.3%を大学生が占めていました。これに対して小学生や中学生、高校生はそこまで多くないことが分かりました。また、西浦町の住民で見ても多くの大学生が含まれる15歳から24歳の年齢層で人口が多くなっています。全体5808

人に対して15歳から24歳の年齢層の人口は1627人で、約28%がその年代になります。2022年の全国の15歳から24歳までの人口は全体に比べて約9.4%でした。(令和2年国勢調査) 全国と比べてみてもこの年代の人がとても多いことがうかがえます。これは近くに龍谷大学があることで一人暮らしの学生が多く住んでいることが要因であると言えます。

さて、このように多くの学生が生活している西浦町ですが、実は西浦町の中にも学生が多く住んでいる場所とあ

まり住んでいない場所にはっきりと分かれています。最も多く学生が住んでいたのは2丁目です。それに続いたのは8丁目、最も学生が少なかったのは1丁目でした。その差は大きく、最も多い地域と少ない地域を比べると285人も差がでています。(令和2年国勢調査) この数字は小中学生や高校生も学生数が多ければ多くなる傾向があります。これはそもそもの地域の広さやマンションなどが多くあるかどうかにか





西浦歳時記



ここ最近朝晩はまだ少し冷えますが、日中はあたたかな陽気になり、まさに春本番ですね。

さて、春と言えばやっぱりお花見、特に4月は桜ですね。ここ京都は桜の名所が多く、清水寺や円山公園などあげるとキリがありませんね。でもそんな人気スポットは、見応えこそありますが、人が多くてちょっと疲れますよね。

今回は、ここ西浦から手軽に行くことが出来るお花見スポットをご紹介します！今回、私たちに情報を教えて下さったのは、前回号の「西浦うまいところルポ」の取材にご協力いただいた、手打ちうどん大河の岸野さんです。岸野さん曰く、まず西浦町内では、「西浦中央公園」の桜は綺麗だそうです。他では、西浦から少し外れますが、京阪藤森駅から北へ延びる「琵琶湖疎水沿い」や、名神高速沿いの「深草西浦南公園」も綺麗だよと仰っておられました！(松田)

西浦うまいところルポ

—8°Cafe (ハチドカフェ)—

3回目の西浦うまいところルポでは、西浦町6丁目にある8°Cafeさんにお邪魔しました。8°Cafeさんはミルクティー・フルーツティー・お茶・コーヒーといったドリンクとシャーベット・アイスクリームが楽しめるカフェです。ドリンクは先に挙げた4種類それぞれの中から白桃ウーロン、ジャスミン等様々な味を選ぶことができます。店内は落ち着いた雰囲気でもとても居心地がよく、ゆっくりと過ごすことができます。

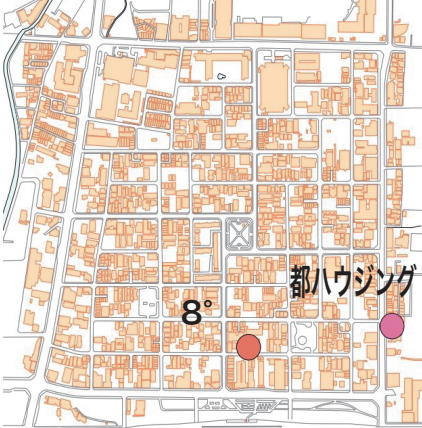
今回お店の店主さんにお話を伺いました。店主さんは台湾出身で、元々西浦町で貿易の会社を経営しておられ、西浦町を外国の取引先を紹介する場所としていたそうです。しかしコロナ禍で外国との取引が無くなってしまった時期がありました。そこでせっかくの会社の建物を潰してしまうのはもったいないと感じ、近所の方々が立ち寄れる場所としてカフェにすることに決めたのだと話してくださいました。

そんなお店のこだわりは、コーヒー

を生豆から独自の方法で自家焙煎していること、タピオカを本場の台湾から仕入れていることだそうです。

私は今回白桃ウーロンのお茶をいただきました。甘さが控えめで飲みやすく優しい桃の味がとてもおいしかったです。お店のロゴが印刷されたかわいいスリーブの付いたカップはつい写真を取りたくなってしまいます。みなさんもぜひ立ち寄っておいしいドリンクを楽しんでみてはいかがでしょうか。(中岡)

「8°Cafe」と「都ハウジング」の位置



西浦に暮らす

「西浦に暮らす」の三回目は都ハウジングの岡本社主に、小山、竺原、谷川が、お話を聞かせていただきました。

■都ハウジングとは？

京都市バスの西浦町という南行きバス停の前。西側に師団街道と言う通りに面している不動産会社。

■現在の仕事を始めたきっかけ

今から49年前に日本社会を大きく揺るがした第1次オイルショックという出来事がきっかけだそうです。オイルショックが起きた際に勤めておられた会社が成り立たなくなってしまい独立せざるを得なくなり、その際に以前から持っておられた宅地建物取引士の資格を使って現在の会社の事業を始められたそうです。

■西浦町のどんなところが好き？

自由闊達でダイナミズムに溢れた住みやすい町であることが魅力であると言っておられました。この様な住みやすい町を構成する要因となっているの

古都京都の中ではその町の歴史が新しい西浦。そこで暮らしていく人達は、その町の個性をつくっている担い手ともいえましょう。そんな人々にお話を伺います。

は、住んでいる人が若い人からお年寄りまで各層の年代が住んでいること、日本人と外国人が分け隔てなく住んでいること、また、多種多様な業種の小企業、零細企業の事業者が町内で営業しているというところにあると言っておられました。また、住みやすい町の構成員の多くの部分を龍谷大学の学生が占めており、良い意味でも悪い意味でも龍谷大学の存在が大きく、留学生も含めて学生の人数が非常に多いので、西浦町全体に非常に大きな影響力があると言っておられました。もし龍谷大学の学部が二つ三つでも他の場所へ移転してしまったら西浦町の活力が低下するなど様々な影響があることから、岡本社主は西浦町のことを龍谷大学の城下町と言っておられました。

■今後の目標

今まで進めてきたことと同じように明るくて活力のある、住みよい町にしていくために生活の面でも仕事の面でも

西浦町に住む一員として一生懸命力を出していきたいと言っておられました。岡本社主は仕事柄、西浦町内で6回ぐらい転居しているそうですが、一度も西浦町を離れようと思ったことはないと言っておられました。今後も転居することがあっても西浦町から離れることはないそうです。

■龍谷大学の学生へのお願い

毎日の生活の中で西浦町と関わる学生が西浦町の住民とともに学生時代の4年間を楽しく安全に過ごせる町づくりに協力し、大学を卒業するときには西浦町と関わる事が出来て良かったと思えるような4年間を過ごしてほしいと言っておられました。

(取材：谷川、竺原、小山)



西浦生活便利帳、Manuals for living smoothly in Nishiura Neighborhood

ゴミの分別について詳しく説明します。垃圾分类的具体方法如下：Detailed explanation of separating wastes.



上の図のように、分けます。

1と2は黄色の指定袋。3と4は透明の指定袋に入れて出す。(詳しくは、2月号をご覧ください)

3と4のゴミには主に、のマークがある。

・大きいゴミの出し方

家具や家電などの大きなゴミを出すにはお金がかかる。京都市大型ごみ受付センターに電話をする。大きなゴミはゴミ捨て場に出しても回収されないで注意。詳しくは <https://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000001317.html>

・雑紙とは

雑紙とは、新聞、ダンボール以外のリサイクルできる紙。紙袋に入れたり、ひもでしばるなどして散らばらないように出す。詳しくはこちら <https://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000172959.html>

按照上图所示，将垃圾分成不同的类别。

1和2放在黄色的指定袋中，3和4放在透明的指定袋中并投放（更详细的信息请参阅2月号）。

3和4的垃圾主要带有以下标记：

・大型垃圾的处理方法

处理家具、家电等大件垃圾需要花费一定的费用。需要拨打京都市大型垃圾接收中心的电话。

请注意，大型垃圾即使扔到垃圾场也不会被回收。

更多详细信息请参考以下链接：<https://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000001317.html>

html

・杂纸是什么？

所谓杂纸是指除了报纸、纸板箱以外可回收利用的纸张。

需要将其装入纸袋中或用绳子捆绑好，确保不会散落在外。更多详细信息请参考以下链接：<https://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000172959.html>

The wastes are separated as shown in above figure.

Waste 1 and 2 should be put in the designated yellow bag, whereas 3 and 4 should be put in the designated transparent bag (For detailed information please refer to No. 2 of Nishiura Tsushin).

Throwing away bulky waste such as furniture or electrical appliances requires payment.

First, you need to call Kyoto-city bulky waste center.

You must not throw away the bulky waste to the garbage

dump.Please refer this website for detailed information.

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000001317.html>

*Miscellaneous paper

Miscellaneous paper is a recycle paper other than newspaper and cardboard. You must put it in a paper bag or tied it up so that it does not scatter .Please refer this website for detailed information.

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000172959.html>